

皆さんは、今日付けで県の職員となりました。心より歓迎致します。

皆さんは新しい世界へ踏み出されたばかりですから、今日は、島根県職員になるということはどういうことか、ということについていくつかお話をしようと思います。

まず、第一に、大事なことは、県庁は県民の方々のためにある組織ですから、「県民の方々のために働く」ということを、常に頭の中に入れて置かなければ、ならないということでもあります。

皆さんの職場では、県民の方々にお会いし、話をお聞きするといったことが沢山あると思います。

そういった際に、「県民の方々から話を丁寧によく聞く」ということが、大変大事なことであります。

県民の方が「何を望んでおられるのか」、「何が問題であるのか」、といったことを丁寧に聞かなければなりません。

そうした「お聞きする」という姿勢を働く際の一番大事な心構えとしておいて下さい。

次に、皆さんは、これから県の各部署に配属になり、組織の中でみんなと一緒に働くこととなります。

チームで働くこととなりますから、自分だけではなく、「チームのために働く」という意識も大切です。

これが第二の心構えです。

そして、上司、あるいは先輩、同僚がどういうふうを考えているのか、よく聞いたり、よく話をしたり、議論をしたりすることが大切です。

さて、今、政府、そして県など地方自治体にとって大きな課題は、「人口減少を如何に食い止めるか」ということです。

県は昨年秋に、そのための「総合戦略」を作りました。

島根の人口減少の大きな原因は、日本の高度成長期に産業が発展する東京や大阪などの大都市に若い人たちが働きに出て行って子どもを産み育てる若い世代が県の中で少なくなったからであります。

このように人口減少が続く島根では、農林水産業の厳しい状況、インフラ整備の遅れ、地域医療の確保、防災対策、中山間地域などでの生活機能の確保など様々な課題が山積しています。

人口減少対策としては、対策は大きく言って、2つあります。

一つは、産業の振興により島根で若い人たちが安心して働ける雇用の場を増すことでもあります。

もう一つは、島根で働く若い人たちに対して、結婚、出産、子育てを支援することでもあります。

県は、こうした対応を、適確、迅速に進めていかなければなりません。

そのためには、他の先進地域で行われていることを調査したり、新聞やテレビの報道などを通して、あるいは専門家などの意見もよく聞きながら、あるいは自分で本を読んだり、また、何をしたらよいのか、何が効果があるのかということの研究することが必要です。

そこで第三の心構えということになるのですが、皆さんも若いうちから、むしろ若いからこそ、自分がやっている仕事だけでなく、広く世の中に関心を持って、「皆さんの目と耳を広く外に向けて開いておく」ということが大事です。

そして、「自分自身が何をしたらいいかということを考える」ことが必要です。

皆さん方の若々しい感性で、是非、積極的にいろんなことに関与をし、関心を持って活発にチャレンジをしていただきたいと思います。

このように県の課題は沢山ありますけれども、去年は、松江城天守の国宝指定、津和野今昔の日本遺産認定、隠岐世界ジオパークのユネスコの正式事業化、尾道松江線の全線開通など、島根にとって喜ばしいニュースも続きました。

こうした好機を活かしながら、「島根を元気にする、活性化する」ということは、県の最も大きな仕事です。

今年が県の総合戦略を実施に移す年です。

県民の皆さんと一緒に、「子育てしやすく、活力ある地方の先進県しまね」を目指して県庁をあげて取り組んで行かなければなりません。

皆さんはそうしたチームの一員として、新たに加わったのであります。

皆さんの大いなる活躍を期待しまして、私からの歓迎の言葉と致します。

一緒に頑張りましょう。